

公益社団法人 乙訓青年会議所  
2023年度 まちづくり委員会 基本方針

委員会方針:一致団結

委員長 仮屋 藺 毅

課題背景	乙訓地域には数多くの魅力が存在しているにも関わらず、地域住民がその魅力と可能性を認識できておらず、地域の発展に活かし切れていない現状があります。「モノ消費」から「コト消費」へと変化する社会経済のなか、魅力溢れる地域資源を地域の発展へとつなげる必要があります。
設置目的	地域資源を活かすことのできる乙訓(まち)へと進化することを目的とする。
SDGsのゴール	8【働きがいも経済成長も】 8. 9【2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。】 SDGsとの本議題のつながり:持続的な消費を生む仕組みを創出します。  11【住み続けられるまちづくりを】 11. a【都市部、都市周辺部、農村部間の良好なつながりを支援する】 SDGsとの本議題のつながり:向日市、長岡京市、大山崎町とそれぞれの地域が良好なつながりがもてるように支援します。  17【持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する】 17.17【効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する】 青年会議所活動のなかで得られる知識や経験がさまざまなパートナーシップを築き、乙訓地域に関係する人びととの信頼関係や協力関係をより強固なものにする。
目指すべき状態	1. 1月例会・新春交歓会の開催 様々なパートナーとの協力関係を築くことで、協働へとつながり、地域を発展させられる状態。 2. 5月セレモニー例会の開催 乙訓(まち)地域を発展することで、コト消費へと変化する経済社会へと向かった状態。 3. 9月例会まちづくり事業の開催 乙訓(まち)に地域愛を波及させることで、地域コミュニティーを活性化し、地域全体で地域資源の活用をまちの発展につなげる状態。 4. 各種公開討論会の開催 政治参画意識をもつことで、まちの未来を考え、行動できる地域市民が生まれた状態 5. 市民・企業・行政まちづくり推進事業の実施 乙訓(まち)の可能性を広げることで、地域資源を活かし、乙訓(まち)を発展させられる状態。
事業概要	1. 1月例会・新春交歓会の開催 様々なパートナーとの協力関係を築くために、1年間の方向性を発信することで乙訓青年会議所の活動に共感していただきます。 2. 5月セレモニー例会の開催 乙訓(まち)地域をさらに発展させるために、まちづくり推進事業から導きだされたプロセスを発表し、理解して頂くことで、乙訓(まち)地域の発展の可能性を再認識して頂きます。 3. 9月例会まちづくり事業の開催 乙訓(まち)に地域愛を波及させるために、地域の人びとに認識されていない魅力を発信し、活用することで地域資源を知っていただきます。 4. 各種公開討論会の開催 政治参画意識をもっていただくために、地域の人びとが乙訓(まち)の未来の政策を認識することで、自身の住む乙訓(まち)への関心を高めていただきます。 5. 市民・企業・行政まちづくり推進事業の実施 乙訓(まち)の可能性を広げるために、地域資源を調査、研究することで、循環経済を推進していただきます。

<b>委員会方針</b>	新たな地域の発展を目指すには、我々自身が乙訓地域をこよなく愛し、乙訓地域を知る必要があると思います。大事なまちだからこそ「変えたい！」と思える。初心を忘れず、作業になるのではなく、乙訓地域への愛(想い)が感じられる事業を作り上げたいと考えております。そして全力で事業に取り組む委員会メンバーの想いを共有して、互いに切磋琢磨し、メンバー同士で自身を高めあえる環境を作り、最後に笑って終われるような委員会運営を行ってまいります。
<b>委員会スタッフ</b>	委員長：仮屋 蘭 毅 副委員長：山中 拓也 運営幹事：田口 亜衣 広報幹事：藤元 栄次